

jPRS

# 世界に 1つの 仕事

## 株式会社日本レジストリサービス

東京本社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-8-1 千代田ファーストビル東館（総合受付12F）

TEL: 03-5215-8451 FAX: 03-5215-8452

大阪オフィス

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ10F

TEL: 06-7639-6001 FAX: 06-6455-5324

jprs.co.jp 採用サイト: jprs-recruit.jp



RECRUITING BOOK  
株式会社日本レジストリサービス

what's

# JPRS

## インターネットのインフラを支える 世界で1つの仕事

普段皆さんが当たり前に使っている、SNS・インターネット検索・オンラインショッピング・動画配信・音楽配信・インターネットゲーム・eラーニング・インターネットバンキング・IoT家電etc. …  
これらはすべてインターネットで動いています。

このように、私たちの生活にインターネットはなくてはならないものになりました。  
みなさんは「〇〇〇.jp」や「〇〇〇.com」のような、ドットで区切られた文字列を目にしたことがあるでしょうか。  
これがドメイン名です。私たちがドメイン名を直接目にする機会は限られていますが、  
インターネットのほとんどすべてのアプリやサービスで、このドメイン名が使われています。  
ドメイン名はインターネットにとって欠かせない、インフラと呼ばれるものの一つです。  
もしドメイン名が使えなくなると、ドメイン名を使っているアプリやサービスも、すべて使えなくなってしまいます。

そして、日本を表す「.jp」ドメイン名を管理している世界で唯一の会社が、私たちJPRSです。  
日本中、そして世界中の人がインターネットを当たり前に使えるよう、  
JPRSは、今日もこれからも、「.jp」でインターネットを支えていきます。

まだまだある.jpが支えるもの



ドメイン名とDNSが楽しく学べる  
ポン太のインターネット教室



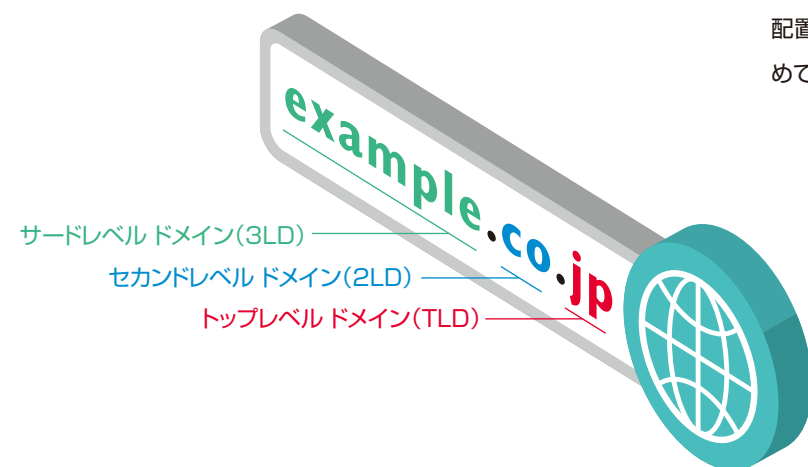
# ドメイン名も。ドメイン名以外も。 インターネットを支える仕事

社会インフラであるインターネットを守ることは、世界中に暮らす人々の毎日を守ることにもつながります。JPRSは20年以上の実績を持つJPDメイン名の管理とJP DNSの運用に加え、Mルートサーバーの運用やサーバー証明書の発行など、インターネットを支える事業においてさまざまなサービスに取り組んでいます。

1

## JPドメイン名 インターネット上の住所管理

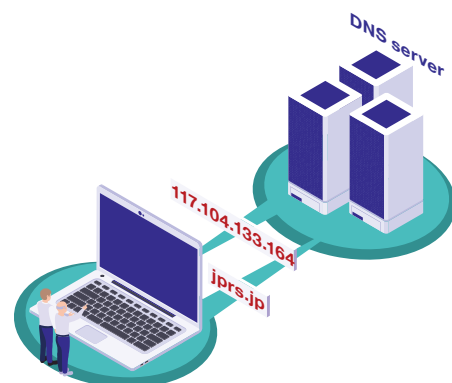
私たちが普段何気なく利用しているWebサイトやメールアドレスには、ドメイン名が使われています。ドメイン名とはインターネット上の住所のようなもので、「example.co.jp」のような文字列で表されます。ドメイン名は階層ごとに「.(ドット)」で区切られており、一番右端を「トップレベルドメイン(TLD)」と呼びます。TLDは、.usや.ukなど国や地域を表すccTLDと、.comや.netなど国や地域によらないgTLDに分類され、JPRSは、日本を表すccTLDである「.jp」の登録を受け付け、その情報を管理しています。このJPDメイン名の管理はJPRSだけが担っており、世界に1つの仕事の責任と、他にはないやりがいがあります。



2

## JP DNS Webサイトにつながる仕組み

インターネットには19億ものWebサイトがあると言われています(2022年現在／出典:Internet Live Stats)。私たちがWebサイトへすぐにアクセスできるのは、その裏側でドメインネームシステム(DNS)という仕組みが動いているから。DNSはドメイン名の構造に合わせた形で分散管理されており、JPRSは「.jp」をインターネットで使えるようにするための「JP DNS」を運用しています。もしJP DNSを1拠点のみで管理しており、その拠点で事故やトラブルが発生してJP DNSが止まってしまうと、「.jp」を利用するすべてのWebサイトやメールアドレスがインターネット上から切り離されることになり、社会に与えるダメージは計り知れません。そのため、JPRSでは万一のトラブルに備え、JP DNSのサーバーを世界26拠点到分散配置するなど、さまざまな施策により安定性・安全性を高めています。



3

## サーバー証明書 Webサイトを守る技術

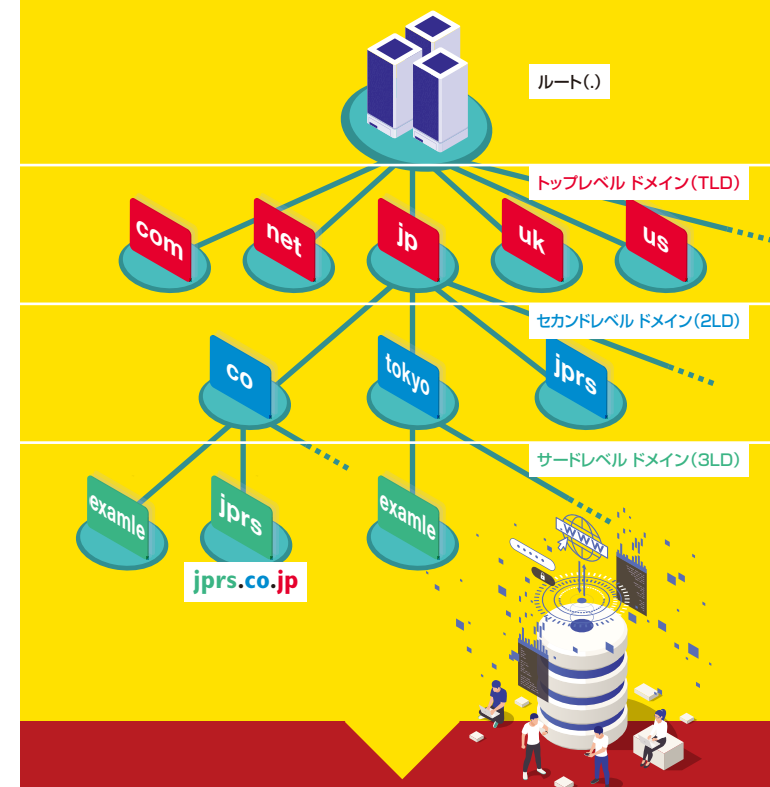
JPRSは、ドメイン名の登録・DNSの運用に加え、2016年から認証局として「JPRSサーバー証明書発行サービス」を提供しており、ドメイン名の利用における安全性の向上も図っています。近年はインターネットの安心・安全な利用を推進するため、Webサイトにサーバー証明書を設定することが当たり前になりました。Webサイトとの通信には「HTTP」という手順が使われますが、サーバー証明書が設定されたWebサイトの通信は「HTTPS」となり、第三者に通信をのぞき見られたり、途中で書き換えられたりできなくなります。HTTPSの最後の「S」は「Secure(安全)」を意味しており、SSL/TLSという技術を使って、通信を暗号化していることを表しています。JPRSは認証局としてサーバー証明書発行サービスも手がけ、安全性の向上に寄与しています。



other

## ルートサーバー DNS階層構造の頂点

DNSがドメイン名を調べる際、まず階層構造の頂点である「ルート」という部分から検索が開始されます。ルートサーバーは、すべてのTLDの情報を管理するDNS階層構造の頂点であり、ルートサーバーが止まるとインターネットが使えなくなってしまうため、とても重要なサーバーです。JPRSではJP DNSの運用に加え、ルートサーバーの運用にも携わっています。ルートサーバーは、米国の非営利法人ICANN(アイキャン)が管理・運用の責任を負い、各ルートサーバーを担当する組織間の連携のもと、各組織が独自に運用を行っています。ルートサーバーは、アルファベット順にAからMまでの13システムが稼働しており、JPRSはその1つであるMルートサーバーを、WIDEプロジェクトと共同運用しています。



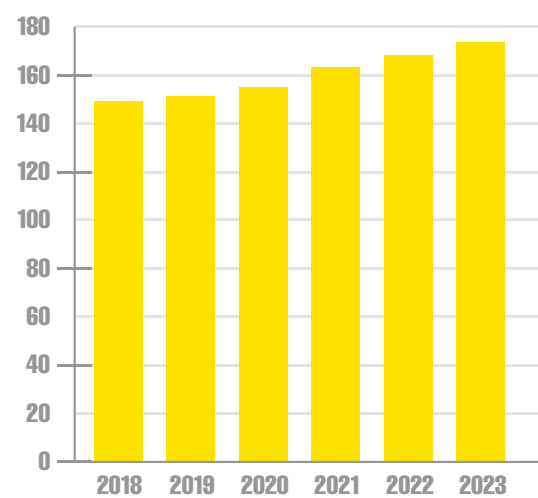
JPRSには世界に1つの仕事の責任と、  
他にはないやりがいがあります。

# ココがすごいJPRS

JPRSでは、インターネットをより安全で信頼性の高いものにするため、基盤構築のための研究や技術開発などを進めています。

安心して快適にインターネットが使える未来を目指し、進化に対応すべく果敢な挑戦を続けているのです。

JPRSが2000年の設立以降築いてきた実績や働く環境について、キーワードをもとにご紹介しましょう。



# 170万 件突破

## インターネットの発展につながるJPドメイン名

JPRSが登録管理を行うJPドメイン名の登録数は、2022年に170万件を突破しました。

テレワークの普及や動画配信・視聴の活発化、インターネットショッピングの利用が進み、社会全体におけるインターネットの利用は以前より大きく拡大しています。そんな中JPドメイン名は、広がり続けるインターネットを支えるサービスの一つとして重要な役割を担っています。

# 無事故



## 2000年の設立から 20年以上も無事故で運用

JPRS設立以来、JP DNSは20年以上無事故・無停止で運用しています。今後もより多くの人に利用してもらうべく、「JPドメイン名サービスを絶えず改善すること」「JP DNSを無事故・無停止で運用すること」「ポリシー策定や技術標準化を通してインターネットの発展に貢献すること」を主軸とした取り組みを進めています。

# 1 オンリー



## 日本を表す『.jp』の管理は JPRSだけ

日本を表すドメイン名『.jp』を登録できるのは、日本に住所がある組織・個人だけです。『.jp』ドメイン名には、「.co.jp」「.ac.jp」「.jp」など様々な種類があり、種類ごとに登録できる要件が異なります。それらすべてを管理している世界で1つの企業が、JPRSなのです。

# 世界も 支える



## ルートサーバーにも関与

DNSにおける階層構造の頂点に位置するルートサーバーは世界に13システム。JPRSではこの一つであるMルートサーバーを、WIDEプロジェクトと共同運用しています。ルートサーバーの運用は関係する組織が協力し合う形で進められており、全世界中でインターネットが使えるようにしています。

# 国際連携



国際的なインターネット関連組織へ積極的に参画し、安定で高品質なインターネットの構築・運用に貢献しています。具体的には、ドメイン名やIPアドレスなどインターネット資源のグローバルな調整やルートサーバーの運用・管理を行う非営利法人ICANNの活動に参画するとともに、その支持組織の一つであるccNSOの設立・運営にも携わっています。また、アジア太平洋地域のレジストリの連合組織である APTLDは、当社の社員が理事を務めています。さらに、インターネット関連技術の国際的な標準化を進めるIETFの会合にも参加し、さまざまな技術提案を行っています。

# 7 月7万円 補助

## 最大50%の住宅手当

家賃の50%、最大7万円まで補助する住宅手当を用意。場所や年数が決められているなど、制約のある企業も多いなか、JPRSの住宅手当は住む場所も自由です。例えば会社の近くに実家があったとしても、自分で家を借りれば手当の対象に。プライベートの充実が、仕事にも良い影響を及ぼすと考えています。



# 社員生活<sup>の</sup> をサポート

会社が契約している会員制割引サービスを利用すれば、レジャー、グルメ、ショッピング、旅行、育児、健康、介護など、幅広い分野の施設やサービスを、割安に利用できます。オンオフのメリハリをつけることが、仕事への活力にもつながるもの。JPRSは、社員一人ひとりのワークライフバランスを大切にしています。



# 1 年間 の新人研修

入社後は、全新入社員を対象に、3カ月間の新入社員研修を実施。主にビジネスマナーや当社の事業・サービス内容など、JPRSで働く上で必要なことを学びます。社内の全部署を回って実際にどのような仕事をしているのか、業務を体験するプログラムもあります。その後、総合職は各部署に配属され、OJTを通して業務スキルを身につけていきます。技術職は、最大9カ月間の技術研修が行われ、アプリケーションやサーバー、ネットワークの基礎から実践までを学びます。さらに専門的な知識習得や技術向上を目的とした研修を段階的に行うなど、のべ1年間の研修を受け十分なスキルを身につけた上で、現場で活躍することができます。



# 80% 補助

## スキルアップのための啓発費

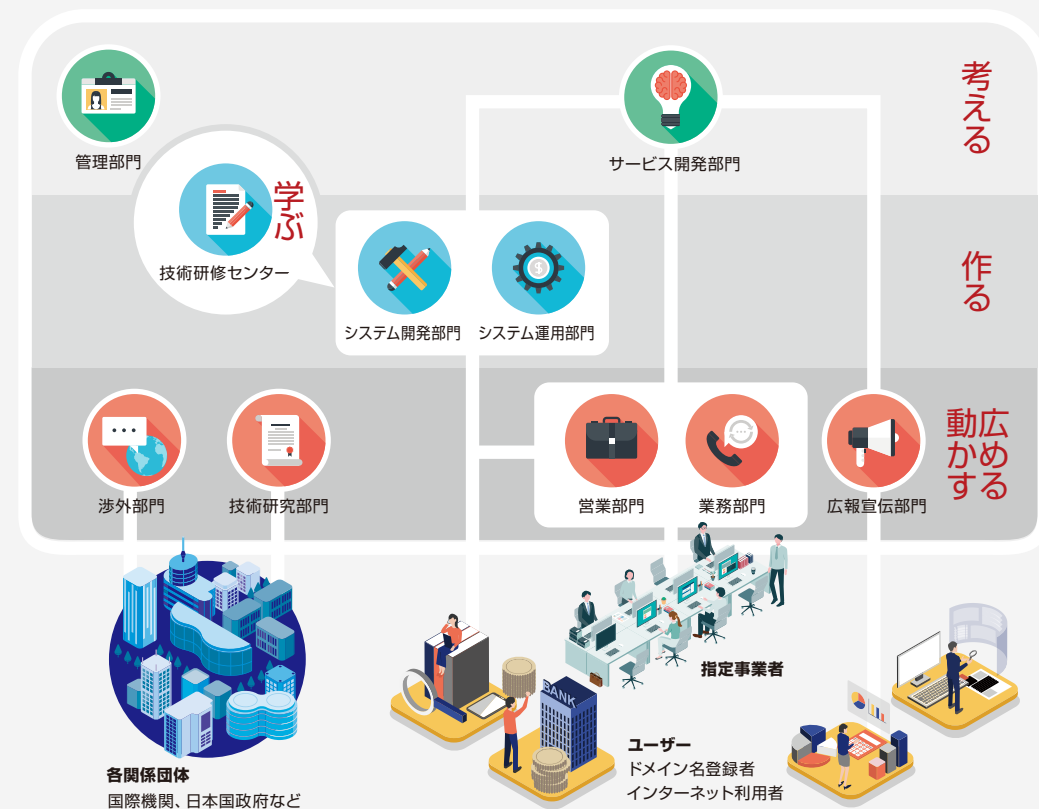
資格取得のための参考書代や受験料、研修やセミナーの参加費などを会社がサポート。担当している業務と直接関連せずとも、JPRSの事業に役立つものなら対象となり、費用の8割、年間25万円まで負担します。その学習や受験、参加に要した分は月10時間まで勤務時間に換算できる制度も。会社として、全社員のスキルアップを支援します。

# 各部門の役割と社内外の関係

JPRSでは、どの部門が欠けても成立しない重要な業務を担っています。

そして、社外組織とも連携しながら、インターネットが当たり前に見える暮らしを支えています。

各部門と社内外の概念図



管理部門 サービス開発部門

## 考える役割

管理部門では、社内業務を通して、社員の働きやすい環境を整備。社員のパフォーマンスを上げることで、企業として発展はもちろん、インターネットがより安全で快適に見える社会を目指します。サービスの開発においては、お客様の声に応えるためには何が必要かを考え、未来に必要なサービスや技術の実現に尽力します。



システム開発部門 システム運用部門 技術研修センター

## 作る役割／学ぶ場所

JPRSの事業そのものに関連するシステムだけでなく、社内のオフィスシステムの設計・構築・保守・運用も展開。「当たり前」の基盤を作り、守り続けます。2020年には「技術研修センター」を設立し、未経験者でも一人前のエンジニアになれるような技術研修を実施しています。



営業部門 業務部門 技術研究部門 渉外部門 広報宣伝部門

## 動かす・広める役割

国内外のインターネット関連組織と連携し、各国の関係者から最新情報を収集。社内にも共有することで、インターネットの未来を築きます。また、『.jp』の価値やJPRSが行う事業の社会的重要性をより多くの人に理解してもらえよう、様々な情報発信も行います。社内外をつなぎながら、JPRSを前進させる役割を担います。

# meet our team



# 考える人



管理部門

サービス開発部門

## 社内外で連携し、インターネットの安定的な運用と発展に貢献。

**サービス開発部門** K.N さん / 2020年入社 / 法学部 法学科 出身

インターネット業界の最新動向を精査し、当社が提供するサービスを評価・分析しながら、継続的な改善や新たなプロジェクトの立案を行うのが私の仕事です。担当領域であるサーバー証明書発行サービスに関する最新情報を継続的に収集し、社内へ共有。当社サービスの改善のための具体的な仕様を検討し、開発部門と連携することで、JPRSのサービスを最新の技術と要

件に合わせて進化させ、インターネット全体の安全性の向上を目指しています。また、業務部門から得たお客様の声をもとにサービス改善提案を行い、これがリリースされると、社内連携によりサービスの品質向上に寄与していることを実感できます。基盤を支え、インターネットの安定的な運用と発展に貢献できるのは、JPRSならではのやりがいです。

### サービス開発部門

既存サービスの見直しや新サービスの企画立案を行い、開発部門や営業・業務部門に提案しています。また、サービスに反映させるために、国内外問わず業界の動向や技術について情報収集しています。新サービス導入の際には顧客企業を訪問し、サポートを行うこともあります。

### 管理部門

人事や総務、経理、法務、経営企画といった社内業務を通して、社員一人ひとりの働きやすい環境を整備。社内を仕事のフィールドにしながらも、社員のパフォーマンスを上げることでインターネットの基盤を守る、縁の下力持ちです。

meet our team

# 作る人

システム  
開発部門システム  
運用部門技術研修  
センター

**早い段階から開発案件に参加できる、  
細やかな教育カリキュラムも魅力。**

**システム開発部門** **M.H** さん / 2021年入社 / 理学部 応用数学科 出身

主にサーバー証明書発行サービスの開発に携わっています。改修がメインですが、既存のシステムを理解した上で改修に対応する実装を考えるのは、難しくも楽しい作業です。担当した機能が実際に使われると、やりがいを感じます。また、業務効率化のための社内システムの開発も行っています。最近では、経理部からの依頼を受け、ヒアリングを経て細かな仕様の調整から

要件定義や設計を進めました。新規開発ということもあり難しいものでしたが、依頼元からも高い評価を受け、達成感がありました。私自身、大学で少しプログラミングを学んだ程度でしたが、技術研修センターでの研修や配属後のOJTを経て開発案件に参加できています。未経験からでも活躍できる環境なので、エンジニア職に興味のある方は、安心して目指してほしいです。

## システム開発部門 / システム運用部門

ドメイン名の登録システムやDNSといったJPRSの事業そのものに関連するシステムだけでなく、社内のオフィスシステムの設計・構築・保守・運用も行う、システムのスペシャリスト集団。インターネットというインフラを24時間365日止めないための、守りの要となる部門です。新サービスのためのシステム開発や外部向けセミナーで講師を務めるといった対外的な業務もあります。

## 技術研修センター

入社後の導入研修・各部研修(3カ月)に加えて、技術職採用者を対象に、技術基礎研修(6カ月)および技術専門研修(3カ月)を行っています。9カ月間、アプリケーション・サーバー/ネットワークの基礎から実践までじっくり学ぶことで、出身学部によらず、業務に必要な技術を身につけ、配属後、スムーズに業務に取り組むことができます。

meet our team

# 動かす人 広める人



営業部門



業務部門



技術研究部門



渉外部門



広報宣伝部門



**国際組織の主要メンバーとして  
インターネットの未来を多角的に模索。**

**渉外部門** **Y.T** さん / 2011年入社 / 外国語学部 中国語専攻 出身

ICANNやAPTLDなどインターネット関連のグローバルな組織による会合に参加し、世界レベルでの情報共有や意見交換などを通じて関係を構築しています。2022年には、APTLDの理事に就任。理事会での議論事項に関しては、「会社として/自分はどう思うか」という観点とは別に、「理事として/会員のためにどうすべきか」と、多角的に物事を見たり考えたりする習慣が身に

つきました。JPRSをアピールするのはもちろん、JPRSに所属する頼れそうな人物として、周りの人々に認知されるのは大事なことです。他組織の方からワーキンググループ参加への声掛けがあったり、JPRSについての質問を受けたりするとやりがいを感じます。今後も「.jp」レジストリの立場で、世界中のccTLDレジストリの方々とは協力し、インターネットの未来を模索していきます。

## 営業部門 / 業務部門

営業部門は、指定事業者对新サービスや施策を提案し、受けた要望を技術部門にフィードバック。プロモーションも企画します。業務部門は、ドメイン名の登録受付や規則改訂、その販売を希望する企業との面談や契約も担当。コールセンターも運営し、お客様の声をサービス改善につなげます。

## 渉外部門 / 技術研究部門

渉外部門は、ICANNなど国際組織を含む関連組織との連携を担い、国内外で情報交換や関係構築等を実施。技術研究部門は、国際組織IETFに参加し、インターネット技術の標準仕様書であるRFCを執筆。いずれの部門も国内外の関連組織と連携し、インターネットの発展に寄与します。

## 広報宣伝部門

「.jp」の価値やJPRSが提供するサービス、社会的重要性を広く伝えることが主な業務です。新サービスや広報活動の内容をWebサイトなどで発信するほか、CMやグラフィック広告、ドメイン名やDNSを楽しく学ぶことができるポスターやオリジナルグッズなどの企画・制作を行っています。DNSに関するセキュリティや最新動向などの技術情報も提供しています。

その他の社員に会う



# TOP MESSAGE

代表取締役社長

東田 幸樹

## 安定と進化の両立には、若い力が不可欠です

インターネットが普及し、社会のインフラとなつてから、20年以上が経ちました。そして、コロナ禍では人々の活動のオンライン化が急激に進みました。今後も、インターネットが人々の暮らしに必要なものであり続けることは間違いないでしょう。だからこそ、我々JPRSは、電気や水道と同じように人々の暮らしを支えるインターネットを、24時間×365日、一秒たりとも止めることなく動かし続ける責務があるのです。

しかし、我々の仕事はそれだけではありません。日々飛躍的な進化を遂げているインターネットですが、いまだ数多くの可能性を秘めています。AIを使った最新技術の研究、増え続ける通信容量に対する物理的な課題、制度・サービス設計の検討など、国内外の関係組織と連携しながら、研究や開発を進めるべきテーマは尽きません。

このように、日々進化し続けるインターネットとともに、常に新しいことに挑戦し続け、更なる価値を社会に提供することもまた、JPRSの責務なのです。

新しいことへの挑戦は決して簡単ではありません。常に挑戦を続けるJPRSの社員には、ものづくりへの情熱やスキルなど、たくさんのものが求められます。インターネットと共に成長してきた世代である皆さんの若い力や考え方もその一つです。

私はもともと教育者でした。だからこそ、皆さんのような若い世代の教育の重要性を強く認識しており、社内での教育には非常に力を入れています。教育に手間は惜しみません。自身を貪欲に高めようとする意欲や、何事も最後までやり遂げようとする粘り強さを求めています。

世界に対して、責任のある仕事です。皆さんとともにものづくりができる日を楽しみにしています。

*To achieve both stability and evolution, the energy of the youth is indispensable.*

# 働く環境

社員が健やかに安心して働ける環境を整えるため、JPRSではさまざまな制度を導入。自己成長を目指す社員を積極的に支援するなど、一人ひとりがその能力を存分に発揮できる会社です。

入社前には、社会人としての一般的なスキルを身につけるための内定者研修を実施。入社後はJPRSで働く上で必要なことを学びながら、各部門での業務体験をしていただきます。



## 研修制度(技術研修センター)

3カ月の新入社員研修が終わった後、技術職採用者はエンジニアになるための基礎を学びます。最大9カ月間、アプリケーションやサーバー、DNSなどの基礎から実践までじっくり学べます。各人のスキルに応じて研修プログラムを組むので、出身学部に関わらずエンジニアを目指すことができる制度です。



## 自己啓発関連制度

資格取得や通信教育、書籍の購入などにかかる費用の8割(年間25万円まで)を会社が負担します。また、申請した自己啓発活動や、業界コミュニティ活動に使った時間を勤務時間に算入できる制度もあります。JPRSは、社員が成長できる環境を整えています。



## 修学制度

仕事をしながら大学・大学院等に入学し、修学ができる制度です。修学にかかる授業料などの諸費用は原則すべて会社が負担し、最大週4日まで自宅・大学で修学が可能です。

※本制度適用者は、入学時点で入社後満3年以上経過した社員の中から会社が対象者を選考します。



## 在宅勤務制度

在宅勤務制度を導入しています。上長が週最大2日まで在宅勤務を指示することができるので、出社と在宅のバランスを調整しながら働くことが可能に。なお、在宅勤務を行った日には在宅勤務費を、出社した日には交通費(実費)を支給します。



## フレックスタイム制度

11:00～15:00をコアタイムとしたフレックスタイム制度を導入しています。一人ひとりの自主性を尊重するJPRSの風土が表れた制度のひとつです。効率的な時間の使い方が身につく、メリハリのある生活を促進します。



## 住宅手当

JPRSでは家賃の50%(最大7万円)を補助。会社の近くに住むことで通勤が楽になり、余計なストレスや疲労のない状態で業務に集中していただくことを目的とした制度です。また、通勤時間が短くなることで、プライベートが充実するというメリットもあります。



## 社内サークル活動

フットサルやデジタル工作倶楽部といった、様々なジャンルのサークルが社内にはあります。部署の垣根を越えて交流ができ、社員の新たな一面が見えることも。



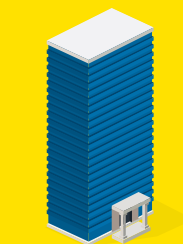
## 育児・介護短時間勤務制度

育児や介護をする場合の休業や短時間勤務制度があります。申し出があれば利用可能で、仕事との両立もでき、男性女性ともに利用実績があります。



## 福利厚生サービス

レジャー、グルメ、ショッピング、旅行、育児、健康、介護など幅広い分野の会員割引サービス「ベネフィット・ステーション」や、東急ハーヴェストクラブの会員割引が受けられます。心身ともにリフレッシュして、仕事面でのパフォーマンスが向上。社員の健やかな生活をサポートしています。



## 持株会

希望者は、毎月の給与から天引きで一定額を拠出し、会社の株式を保有する持株会に入会することが可能。拠出金には奨励金が付与されるため、将来を見据えて資産形成を考えている社員には特に好評です。



# meet our team